

2026

1 月号

VOL. 548

SHIKAI NARA



## 奈良の登録有形文化財 シリーズ VOL. 1

きゅうなんとぎんこうほんてん

文化財名： 旧南都銀行本店



## 【文化財概要】

名称： 旧南都銀行本店

建築年代： 大正 15 (1926) 年 4 月

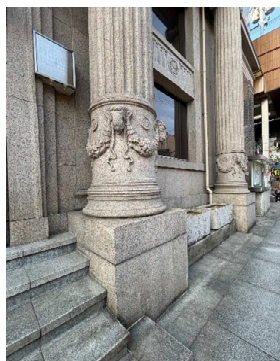
構造及び形式等： 鉄筋コンクリート造 地上 4 階地下 1 階建 面積 516 m<sup>2</sup>

登録基準：造形の規範となっているもの

登録年月日：平成 9 年 7 月 15 日

所在地：奈良市橋本町 16-1

改修歴：昭和 28 年増築 窓枠や内装の改修



奈良の登録有形文化財シリーズ第 1 回は、奈良県で一番目に登録有形文化財となった建築「南都銀行本店」（現在は旧南都銀行本店）です。

## □ 建物の由来

この建物は奈良公園の入口に位置し、観光客が行き交う三条通りに面した誰もが目にする建物です。政府は明治 6 年に第一国立銀行を開業させた後、明治から大正時代にかけて全国各地に数多く銀行を設立しました。この建物は、大正 15 年 4 月、六十八銀行奈良支店として建てられ、昭和 9 年に南都銀行本店となりました。設計は銀行を多く手掛けた長野宇平治氏、施工は大林組です。

## □ 建築の特徴

外壁に岡山産花崗岩と当初は褐色の煉瓦（現在はタイル張り）を使用し、正面にギリシャ建築に見られるイオニア式の柱が 4 本並び奈良唯一の様式建築です。円柱に施された羊の彫刻は、古代ヨーロッパでは民に多くの富をもたらした家畜を金融機関のシンボルとして採用したという説があります。古都奈良にあって、荘厳な外観は地域のランドマークとなり親しまれていました。

客が訪れる 1 階内部は吹き抜けていて 2 階部分にはバルコニーのような回廊が設けられています。これは警備員が巡回して問題や不正がないかをチェックするためのものでした。監視カメラがなかった時代の銀行建築の特徴です。また、銀行にふさわしい重々しい造りのドア、曲線の階段の手すりなど内部も造り込まれ、さらに、アメリカ製金庫扉、窓口シャッター、消火栓、温水暖房など近代的設備が備えられていました。

## □ 登録の経緯

大正期近代洋風の銀行建築の特徴を色濃く残すことから平成 9 年に奈良県では一番目に国の登録有形文化財に登録されました。

永く本店として親しまれてきたが、昨年（2025 年）2 月に老朽化が進んだことなどから本店業務は大宮町の新店に移転しました。旧本店の活用を巡り地域活性化に役立つ方向に向けて、アイデアコンテストで公募するなど最も効果的に活用できる方法を模索されています。地域の歴史的建築として新しい出発が期待されます。

【記：住まいまちづくり委員会 徳本雅代】

# 新年のご挨拶



令和8年  
新年のごあいさつ

(一社) 奈良県建築士会会長

中 尾 七 隆

令和8年の新年を迎え、ご挨拶申し上げます。昨年11月に大分市で大規模火災が発生しました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。お亡くなりになられた方がおられたことは残念ですが、日頃からコミュニティが形成されていたことで多くの命を守れたことも今後の防災に取り組むうえで参考になると思いました。

我々建築士は、過去の災害を検証し、京町家などの先進事例も参考に、同様な集落・町家における防災対策、空き家対策、ヒートショック防止となる断熱改修と同時にすべし耐震改修等、多様な課題解決に向け、前向きかつ具体的に実行していかなくてはなりません。

以上を踏まえ、歴史的建造物や活用ニーズのある空き家は、安全・安心に多くの住民・来訪者に活用され、元気で持続可能なまちとなるよう保存・活用に向けた活動を推進します。また、災害後すぐに支援できる多面的な体制づくりを官民連携で進めたいと思います。

具体的に、当会が過去2年間で7回まち歩きし建物等調査してきた JR 万葉まほろば線周辺の集落や町並みをモデル地域とし、今年は下記の活動を重点的に展開していきます。

- ・当エリア行政関係者と共に歴史的建造物保存活用に向けた条例づくりを目指す勉強会実施
- ・近畿建築祭奈良大会（11月28日）を「三輪山会館」で開催し、平和な国づくりを再認識
- ・上記大会に向け、地域文化遺産のガイド人材育成講座、活動紹介（防災の取組や調査状況）

そして、以上を実施する新たな体制として、既存の教育・事業委員会は「教育・防災まちづくり委員会」に名称変更し、さらに防災活動に寄与します。また「住まいまちづくり委員会」は、「歴史・景観まちづくり委員会、空き家まちづくり委員会、木のまちづくり委員会・ヘリテージ支援センター」に区分けし、より活動しやすいようにします。また、女性委員会は「女性・福祉まちづくり委員会」に名称変更し、男女関係なく活動を進めます。

次に、公共建築の木造化を推進するために、令和9年5月開催の全国植樹祭（平城京）お野立所（天皇陛下が着座されるステージ）のデザイン等提案コンペを当会会員対象に参加者を募集しており、コンセプトに合った木造構造美のある作品が選ばれることで、木造化への機運が高まればと思います。

また、4年目となる「奈良の木でつくる非住宅建築技術者研修」申込者数が、延べ200名超えとなり、奈良県産の一般流通材（住宅用サイズの構造材）を使い、地元の大工で建てられる非住宅木造や公共の木造建築が増えるよう、発注者となる行政の方々と共に学び、脱炭素社会に貢献していきたいと思います。その他、昨年度に引き続き、今年7月～9月にかけて、隣接府県及び県内の大学生を対象に当会主催の学生インターンシップを開催し、建築士を目指す新卒者の県内会員企業の雇用につなげたいと思います。

今年も、皆様方のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





# 新年のご挨拶



令和8年  
新春ご挨拶  
奈良の可能性を拓く一年に

奈良県知事  
山下 真

明けましておめでとうございます。昨年は、大阪・関西万博の成功や奈良県出身の高市総理の誕生など、本県にとっては明るい話題が多かったように思います。一方で、非常に暑く長い夏など地球温暖化の問題やウクライナでの戦争など深刻な問題も継続しています。

## 種から芽が出始めた一年

奈良県に目を転じますと、私が知事就任後、県の発展に向けて蒔いてきた様々な種が少しかけ芽を出し始めました。教育や子育て支援の分野で様々な政策に取り組んできた効果もあったのか、令和6年の奈良県の合計特殊出生率は1.19で前年比0.02の減少となりましたが、この減少幅は全国で3番目に少なく、同出生率の全国順位も35位から30位へと上昇しました。

不足する保育士を増やすための民間の園への給与加算制度も令和6年度から県が新たに補助を始めたことにより、制度を導入した市町村が5市から対象の全25市町村となり、県内就職率も5.5ポイント増えています。高校授業料の実質無償化は、国の支援もあり、令和7年4月から所得の高い世帯への支援も拡充されました。

産業や観光の分野でも良い兆しが出ています。令和6年の県内への新規の工場立地件数は46件で前年比18件の増加。全国順位も11位から6位に上昇しました。また、万博を訪れた外国人が万博と併せて訪問した場所で最も多かったのは、奈良公園がUSJ、大阪城、清水寺をおさえての堂々のトップでした。

これらの成果は、関係各位のご協力とともに建築業界の皆様の日頃のご尽力のおかげであり、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 無限の可能性を引き出すために

知事就任以来、奈良県が持つ限りない可能性を最大限に引き出し、県民の皆さまに暮らしの豊かさを

実感していただくための取り組みを続けてきました。皆さまのご理解とご支援により、少しはその成果が出てきたのかもしれませんが、しかし、少子高齢化、過疎化と東京一極集中、人と人との繋がり希薄化、地球温暖化など、現代の日本が直面する問題は深刻になる一方だと言わざるを得ません。引き続き、県職員と一丸となって粘り強い努力を続けてまいりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。今年が奈良県にとって、貴会員の皆さまにとって素晴らしい年となることを強く祈念します。



令和8年  
新年のご挨拶

奈良市長  
仲川 げん

新年あけましておめでとうございます。

(一社)奈良県建築士会の皆様におかれましては、令和8年の輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より本市の建築行政に、多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと「大阪・関西万博」が開催され、各パビリオンにおきましては世界各地の風土や文化の特色が色鮮やかに表現されており、それぞれの国や地域が大切にしてきた暮らしや技術、自然との共生を体感できる空間に驚嘆するものばかりでした。

本市でも、国宝級とも評価される遺物が出土した富雄丸山古墳の近隣に、古墳出土遺物の展示施設、埋蔵文化財調査センター、収蔵庫、史料保存の館などの機能を集約した「(仮称)奈良市文化財センター」を建設予定です。このことにより、富雄丸山古墳の整備活用の推進や、近隣する道の駅「クロスウェイなかまち」との相互連携をとり、「大阪・関西万博」に引けを取らない空間を目指します。

また誰もが安心して快適に暮らすことができる社会を実現するため、地域全体でバリアフリー化を推進していきます。具体的には、小・中学校や各種スポーツ施設におけるエレベーターの新設・整備を進め、高齢者や障がいのある方も利用しやすい環境

# 新年のご挨拶

を整えます。また、鉄道駅へのエレベーター設置や多機能トイレの改修を行い、移動時の負担を軽減します。さらに、公民館などの公共施設でもトイレの改修を進め、誰もが安心して利用できる空間についても目指していきます。

今後とも皆様方には、様々な角度からまちの魅力や暮らしの質の向上のために更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様にとりまして、新しい年が幸多き素晴らしい一年となりますよう心よりご祈念を申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

奈良県の均衡ある発展は中南和地域の発展なくして果たせないと考えており、橿原市にはその中心都市としての使命があります。県土を俯瞰的に見ても鉄道駅や主要幹線道路の多さは県内屈指であり、この交通アクセスの良さを最大限に活かした、橿原市だからこそできることに思い切ってチャレンジする姿勢を持ち続けたいと思っておりますので、これからも建築士の皆さまのご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後ますますのご発展と会員の皆さまのご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和8年  
新年のご挨拶

橿原市長  
亀田 忠彦

令和8年の年頭にあたり、一般社団法人奈良県建築士会の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より本市の建築行政に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

橿原市は2月11日に市制施行70周年という大きな節目を迎えます。「日本国はじまりの地」として培われてきた歴史と文化を未来へとつなぎ、さらなる発展に向けて新たな一歩を踏み出してまいります。また、昨年世界文化遺産の国内推薦となりイコモスによる現地調査も行われた「飛鳥・藤原の宮都」についても、今夏の世界遺産登録に向けて、引き続き全力を尽くしてまいります。

さて、昨今の円安や原油高・建築資材高騰を受け、建築業を取り巻く環境は厳しさが増している中、建築物省エネ法・建築基準法が昨年4月に改正され、全ての新築建物に省エネ基準適合が義務付けとなり、より快適で環境に配慮した住まい・まちづくりも求められています。このような状況の中、既存建築物の利活用や建物の質向上といった多様化するニーズを汲み取りながら、将来世代にわたって使い継がれる良質な住宅・建築のストック形成を進めていくためには、建築物に関する豊富な知識と技術力に精通している建築士の方々の働きが不可欠であると考えております。



令和8年  
新年のごあいさつ

生駒市長  
こむらさき まさし  
小紫 雅史

旧年中は本市行政にご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博が盛大に催され、本市も4月に生駒山観光のVR体験を、5月には高山茶釜の実演を、更に7月には、お茶を通してつながった4

市と連携して、展示・体験型企画「Tea Journey～日本茶の文化と風味を楽しむ～」を開催しました。高山茶釜はクールジャパンアワードを受賞。これらを通して本市の魅力を広く世界に発信しました。

加えて、観光案内拠点「IKOBA」のオープンや、生駒山ブランド推進協議会に近鉄グループが加入しミシュラングリーンガイドの星獲得を目指すプロジェクトも始動。昨年の夏に本市を訪れた外国人の数は、前年と比較して約1.9倍と飛躍的に増加しました(株ナビタイムジャパン調査より)。今後も、観光客の誘致とともに、駅周辺の魅力・価値の向上を進めていきます。

また、本市では、将来都市像の「自分らしく輝けるステージ・生駒」の実現に向けて、子育てしやすい環境をつくり、人と人とのつながりを豊かにしつつ、「住む」「働く」「楽しむ」が融合し、多様な暮らし方が叶うまちへと進化する施策を進めています。特に教育では、こどもたち一人ひとりが主体的に



# 新年のご挨拶

自分らしく学ぶ授業改善に力を入れ、自己肯定感を高めるキャリア教育にも積極的に取り組んでいます。また、こどもの居場所・学び支援室「いきいきほっとルーム・のびのびほっとルーム」の支援対象や校内サポートルームの拡大など、学校に通いづらい子どもたちへの支援も強化しています。

まちづくりの取組としては、生駒のまちをもっと魅力的にするため、国家的プロジェクト関西文化学術研究都市高山地区第2工区や、その「玄関口」である、学研北生駒駅北地区のまちづくりが動き始めています。その他、長年望まれていた東生駒駅のエレベーターの整備などのバリアフリー化に向けて、近畿日本鉄道㈱と協力して事業を進めています。

今後も、デジタル技術やAI、民間のサービスも積極的に活用し、「暮らす価値のあるまち」という都市ブランドの確立に向けて、協創によるまちづくりを進めますので、ご支援とご協力をお願いします。

貴会の皆様には、平素から様々な形で多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。本年もより一層のご支援とご協力をお願い申し上げますと共に、本年が、皆様にとって、素晴らしい1年となりますよう心からお祈り申し上げます。



令和8年  
新年のご挨拶

奈良県県土マネジメント部  
まちづくり推進局建築安全課長  
堂崎 浩平

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

奈良県建築士会会員の皆様におかれましては、日頃より本県の建築行政に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴会会員の皆様が、建築文化の発展に向けて多方面で精力的にご活躍されていることに対し、深甚なる敬意を表する次第です。

さて、皆様も日々実感されていることと存じますが、近年、建築業界を取り巻く状況は大きな転換期を迎えております。省エネルギー対策の一層の推進、木材利用の拡大、さらにはデジタル化の急速な進展など、取り組むべき課題は多岐にわたり、その対応はますます重要性を増しております。

特に昨年は、建築基準法および建築物省エネ法の

改正が施行されたことにより、建築士である皆様の業務にも大きな影響が生じました。

また、本県では、盛土等に伴う災害から県民の生命を守るため、「宅地造成及び特定盛土等規制法」に基づく新たな規制を昨年より開始いたしました。これにより、宅地・農地・森林など土地の用途を問わず、一定規模以上の盛土等を行う場合には許可等が必要となり、より安全性を確保する取り組みを進めているところでございます。

このように、建築を取り巻く環境は今後も変化を続け、的確かつ迅速な対応が求められます。その中で、建築士の皆様には、地域の安全・安心を支える専門家として、これまで以上に重要な役割を担っていただくことになります。

本年、本県では県民の安全性向上を図るため、「奈良県耐震改修促進計画」を改定し、地震時の建築物被害を軽減するための耐震化の取り組みを一層推進してまいります。さらに、貴会が参画されている各協議会の活動におきましても、被災建築物および宅地の応急危険度判定に係る実施体制の整備や、災害時に危険性が増すおそれのある違反建築物対策を引き続き進めてまいります。

これらの取り組みを円滑かつ効果的に展開するためには、建築士会会員の皆様のお力添えが欠かせません。引き続き、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、奈良県建築士会のさらなるご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶といたします。



# 謹 賀 新 年

## (一社)奈良県建築士会参与会々員

<p><b>株式会社 浅沼組</b> (奈良営業所)</p> <p>奈良市三条本町4-32 中室ビル</p> <p>☎0742-26-5225</p> <p>東口 勝彦</p>	<p><b>株式会社 奥村組</b> (奈良支店)</p> <p>奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル</p> <p>☎0742-22-5001</p> <p>芳村 昌秀</p>	<p><b>株式会社 尾田組</b></p> <p>奈良市高畑町738-2</p> <p>☎0742-26-6011</p> <p>尾田 安信</p>
<p><b>株式会社 鍛冶田工務店</b> (奈良本社)</p> <p>御所市150-3</p> <p>☎0745-65-2131</p> <p>鍛冶田 八彦</p>	<p><b>株式会社 崎山組</b></p> <p>橿原市南八木町2-3-35</p> <p>☎0744-22-2353</p> <p>寄山 和之</p>	<p><b>大日本土木 株式会社</b> (奈良営業所)</p> <p>奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル</p> <p>☎0742-22-3071</p> <p>磯田 征浩</p>
<p><b>株式会社 中和コンストラクション</b></p> <p>桜井市桜井281-7</p> <p>☎0744-42-9313</p> <p>大浦 晃平</p>	<p><b>株式会社 中尾組</b></p> <p>桜井市桜井553-1</p> <p>☎0744-42-3567</p> <p>中尾 隆成</p>	<p><b>中村建設 株式会社</b></p> <p>奈良市三条大路1-1-48</p> <p>☎0742-33-1001</p> <p>中村 光良</p>
<p><b>株式会社 平成建設</b></p> <p>橿原市曽我町352-4</p> <p>☎0744-22-3800</p> <p>吉崎 真仁</p>	<p><b>松塚建設 株式会社</b></p> <p>宇陀市榛原福地610-1</p> <p>☎0745-82-1371</p> <p>井上 清利</p>	<p><b>村本建設 株式会社</b></p> <p>北葛城郡広陵町大字平尾11-1</p> <p>☎0745-55-1151</p> <p>南條 秀和</p>
<p><b>株式会社 森下組</b></p> <p>吉野郡大淀町檜垣本1589</p> <p>☎0747-52-3535</p> <p>森下 秀城</p>	<p><b>株式会社 山上組</b></p> <p>奈良市鳥見町1-1-3</p> <p>☎0742-44-0063</p> <p>山上 武宏</p>	<p><b>株式会社 米杉建設</b></p> <p>天理市蔵之庄町49-1</p> <p>☎0743-65-3151</p> <p>米杉 伸喜</p>

(50音順)

# 謹 賀 新 年

## (一社)奈良県建築士会 役員・有志

<p>一級建築士事務所ピオス</p> <p>奈良市左京1-6-22</p> <p>0742-71-1712</p> <p><b>伊 藤 吉 郎</b></p>	<p>井上建築工房アルス</p> <p>大和郡山市北郡山町158-6</p> <p>大和第3ビル204</p> <p>0743-51-0286</p> <p><b>井 上 慶 治</b></p>	<p>大和ハウス工業株式会社</p> <p>大阪市北区梅田3丁目3番5号</p> <p>06-6131-8550</p> <p><b>折 目 貴 司</b></p>
<p>紀本建築設計事務所</p> <p>磯城郡田原本町八尾392-12</p> <p>0744-33-4407</p> <p><b>紀 本 澄 男</b></p>	<p>株式会社福本設計</p> <p>奈良市大宮町4-281-1</p> <p>新大宮センタービルディング</p> <p>0742-34-2800</p> <p><b>小 寺 弘 泰</b></p>	<p>小松原工務店</p> <p>宇陀市菟田野松井170-1</p> <p>0745-84-4128</p> <p><b>小松原 寛俊</b></p>
<p>株式会社ワールド設計</p> <p>磯城郡田原本町三笠152-10</p> <p>0744-33-1616</p> <p><b>阪 口 龍 平</b></p>	<p>株式会社たかの建築事務所</p> <p>五條市本町1-7-11</p> <p>0747-22-3232</p> <p><b>坂 田 至 伸</b></p>	<p>坂本工務店</p> <p>奈良市押熊町558-1</p> <p>0742-45-8785</p> <p><b>坂 本 慎 二</b></p>
<p>小林建築事務所</p> <p>天理市柳本町1519</p> <p>0743-66-2511</p> <p><b>庄 田 尚 代</b></p>	<p>株式会社城田設計</p> <p>奈良市佐紀町1番地</p> <p>0742-33-5585</p> <p><b>城 田 全 嗣</b></p>	<p>一般社団法人 奈良県建築士会</p> <p>奈良市大宮町2丁目5番7号</p> <p>0742-30-3111</p> <p><b>高 安 秀 和</b></p>
<p>大勝建設株式会社</p> <p>天理市九条町377-5</p> <p>0743-66-2569</p> <p><b>中 嶋 孝</b></p>	<p>株式会社中和設計</p> <p>橿原市今井町2丁目1番14号</p> <p>0744-25-5356</p> <p><b>中 谷 淳 一</b></p>	<p>株式会社中西構造設計</p> <p>橿原市新賀町235-6</p> <p>橋本ビル3階</p> <p>0744-24-6537</p> <p><b>中 西 治 夫</b></p>
<p>株式会社樹谷設計</p> <p>奈良市西ノ京町101番地の1</p> <p>0742-34-1461</p> <p><b>中 元 綱 一</b></p>	<p>松塚建設株式会社</p> <p>宇陀市榛原福地610-1</p> <p>0745-82-1371</p> <p><b>松 塚 幾 善</b></p>	<p>公益社団法人 奈良まちづくりセンター</p> <p>奈良市中新屋町2-3</p> <p>0742-26-3478</p> <p><b>米 村 博 昭</b></p>

(50音順)

11月8日に、「淡路島バスツアー」(女性委員会主催)に参加させて頂きました。阪神淡路大震災から30年が経過した今、改めて震災を見つめなおす目的で企画されました。8時に大和西大寺を出発し、坂茂氏設計の禅坊清寧(車窓見学)、農家レストラン陽・燦燦を見学し、北淡震災記念公園を訪れました。阪神淡路大震災兵庫県南部地震は、活断層の野島断層が動いたことにより起き、公園内の保存館にはこの断層が185m保存され、国指定天然記念物に指定されています。

地面に1本線が走り、片方が落ち横にずれている…目の当たりにすると、改めて自然エネルギーの凄まじさと、物理的、心理的な備えの大切さを思い出



しました。そして、当時に地震をご経験され、体験を伝える活動をされている館長さんから実際の様子、「語り」を聞き、胸が熱くなりました。目頭をおさえられている方もおられました。館長がおられた地域は、日頃から近所のコミュニケーションが取られており、隣人がどこで寝ているか知っていたそうです。そのため、地震直後の救助では掘る位置を想定でき、速やかな救助により全員が無事だったそうです。人のつながりの大切さも感じました。その後、土のミュージアム shido さんでは土についてのお話を伺うと共に、淡路ご出身の久住氏による様々なテクスチャで仕上げた土壁の展示を見学することができました。最後には古事記・日本書紀の冒頭にその創祀を記す最古の神社、伊弉諾神宮を参拝し、大和西大寺に戻りました。備えも見直す機会になった充実した一日でした。震災を経験していない世代に伝えていきたいと思います。



【記：奈良支部 疋田さつき】

11月6日に、福井県小浜市伝建地区合同見学会を行いました。近年木材を使用した中規模建築物の利活用のニーズが高まっており、この見学会で他県の事例を学ぶことが出来ればと、又、支部間の交流・意見交換のいいきっかけになればとの趣旨です。

#### ■見学地 福井県小浜市

福井年縞博物館・若狭三方縄文博物館及び重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)「小西組・熊川宿」町並散歩 明通寺・三重塔(国宝)

早朝、榛原駅と桜井駅に集合し、参加者16名でバスにて出発しました。多少の渋滞に巻き込まれましたが、10時半頃には「若狭三方縄文博物館」及び「福井県年縞博物館」に到着しました。まず縄文博物館をガイドの案内で見学し、続いて年縞博物館を訪れました。周辺の鳥浜貝塚の発掘成果や、三方五湖の一つである水月湖の湖底から発見された、約7万年分・45mにも及ぶ年縞(ねんこう)に関する展示を鑑賞しました。年縞とは、季節ごとに異なる物質が湖底に堆積することで形成される縞模様のことです。特に水月湖で確認された年縞は、その連続性と規模が世界的にも突出しており、【世界のものさし】と称されています。

昼食は、重伝建小浜西組にある四季菜館 酔月でいただきました。明治初期の料亭を再現した建物で、直径30cmの大皿に若狭の旬の幸を豪快に盛り込んだ料理は、大満腹の昼食でした。小浜西組は京極高次が小浜城築城の際、武家と町人が混在した中世の町を東・西・中の3組に分けた街造りを進めました。土蔵やガッパリなど往事の面影を残す町並みは、国の重伝建に選定されています。

明通寺・三重塔は征夷大將軍坂上田村麻呂の創建と伝わる真言宗の古刹。本堂・三重塔(国宝)は礎石縁束石とともに自然石で、漆喰叩の上に建てられています。

重伝建・熊川宿は若狭と京都をつなぐ「鯖街道」にある宿場町です。谷間を流れる北川に沿って発生した集落で、馬や船が荷捌き場として発展をとげました。今も残る江戸期に形成された町並は、重伝建に選定され「御食国若狭と鯖街道」として日本遺産に認定されています。

帰路も渋滞でしたが、意外に早く帰着。帰路のバス内では和気藹々の雰囲気でお酒も入り和やかに楽しく歓談しながらの旅路でした。



【記：桜井支部 松尾憲治】



10月31日に、最近活躍の目覚ましいドローンと、これからの建築設計業務を担っていくBIMについてのセミナーを行いました。

ドローンとは、無人航空機の事なのです！空飛ぶクルマはドローンではありません。エンジンか電動かも関係ありません。知らなかったよ・・・。

午前中はこのように「ドローンとはなんだろう？」「どんなことができるの？」「どういった手続きが必要なの？」「仕事で使えるの？」「BIMとの連動ってどんなことができるの？」といった、建築士向けの話が盛り沢山なセミナーとなりました。

さらに、建築CADにドローンの点群データを取り込み、実際の建物に増築を行った場合のシミュレーションや3Dパースでの確認など、より建築に踏み込んだ講習内容となりました。



午後からは実機を使った講習です。あいにくの雨でしたが、体育館で大型ドローンを飛ばしたり、参加者が小型のドローンで操縦体験を行ったり、ドローンで体育館を測量すると画面に3次元の点群データが表示され、体育館の鉄骨トラスや、点検用通路、照明器具などがリアルに表現されていきます。



どんどん進化するドローンやBIM。建築の転換点と来るべき未来を垣間見れた非常に有意義なセミナーとなりました。

今回のセミナーにご協力いただきました、株式会社トライアブル様と福井コンピュータアーキテクト株式会社様には大変お世話になり、ありがとうございました。この場をお借りして、御礼と代えさせていただきます。

【記：教育・事業委員会 徳本 豊】

11月29日「災害発生後の生活再建」をテーマとしたシンポジウムが開催されました。本シンポジウムは、奈良弁護士会・奈良県司法書士会・奈良県行政書士会・奈良県建築士会・奈良県社会福祉士会の5団体による共催で、行政・福祉・地域関係者など多くの参加がありました。

#### ■ 第Ⅰ部 基調講演

講師：徳島弁護士会 弁護士・防災士 堀井秀和氏

基調講演では、災害ケースマネジメントの現状と課題が整理されました。被災者の課題が多様化する中、支援が分断されやすいこと、また平時からの連携不足や役割の曖昧さが奈良県でも課題であることが示されました。「災害ケースマネジメントは、災害時に急に始めるのではなく、平時から準備する仕組みである」ことが強調されました。

#### ■ 第Ⅱ部 パネルディスカッション

後半では、5団体が災害時に果たす役割を簡潔に報告しました。

・弁護士会：法律相談体制・自治体協定・相談員派遣の取り組み、また人員不足の課題。

・司法書士会：相続・登記など住まいの権利整理の重要性と、被災者の「話を聞いてほしい」というニーズ。

・行政書士会：補助金申請や行政手続きの支援を担い、専門職間の連携の必要性を強調。

・建築士会：当会理事の伊藤吉郎氏から被災度区分判定や住まいの安全確保など、生活再建の基盤を支える専門性と復興支援に関する取り組み。

・社会福祉士会：生活課題を把握し支援調整を行うケースマネジメントの役割。

単独では対応できない課題に対し、多職種連携の重要性が改めて確認されました。

#### ■ 共同宣言

最後に、5団体による共同宣言が発表されました。すべての被災者に寄り添い、行政・専門職・地域住民と連携して生活再建を支援することを確認し、次の3点を具体的目標として掲げました。

1. 被災者のための個別相談支援窓口の開設・運営
2. 被災者に対する個別訪問相談支援の実施
3. 他士業・専門職が参加するための働きかけ

5団体は、平時から協力体制を深め、災害時に途切れない支援をめざす姿勢を共有しました。



【記：青年委員会 福西正太郎】

## お知らせ

### ●令和8年新年大交歓会のご案内

日時：令和8年1月16日（金）18：30～  
場所：ホテルリガーレ春日野

### ●奈良県被災建築物応急危険度判定士養成講習会 （更新及び新規登録）

開催日：令和8年1月20日（火）

会 場：奈良公園バスターミナル レクチャーホール

### ●入会

井上 雄二 様（奈良支部）

佐藤 雅史 様（桜井支部）

よろしくお願いします。



## 編集後記

皆様、明けましておめでとうございます。

今年の干支は丙午で、「情熱と行動力で突き進む」ような明るい意味があるそうですね。この一年が平和で明るい年になるように祈りたいと思います。

生駒支部の野村亜希子さんにお願ひし、1月号より表紙のデザインを一新しました。奈良らしさを表した楽しい文字とシンプルなデザインが印象的です。

また、表紙シリーズは「奈良の登録有形文化財」を取り上げることにしました。「登録有形文化財」とは何かについては3月号で解説いただく予定にしておりますが、歴史のある奈良には素晴らしい文化財が多く、皆様に紹介していければと考えております。

「士会奈良」に関して、読者の皆様のご意見を伺いたく、アンケートを実施することにしました。

今後も皆様のご要望をより多く取り入れた紙面にしていきたくと考えております。

右の QR コードから入力画面に入れますので、是非、回答をお願いいたします。



【記：情報・広報委員 伊藤吉郎】

1月

1日(木) 元日・年末年始休業（～4日）  
5日(月) 事務局仕事始め  
16日(金) 新年大交歓会  
20日(火) 応急危険度判定士養成講座

2月

18日(水) 監理技術者講習

## 士 会 奈 良

通巻 665 号

令和8年1月1日（発行隔月1回1日発行）

発 行 所

一般社団法人 奈良県建築士会

〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館

電話：0742-30-3111 FAX：0742-33-4333

WEB サイト：https://nara-kenchikushikai.or.jp/

e-mail：info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者

中 尾 七 隆

編 集

（一社）奈良県建築士会 情報・広報委員会



## 情報・広報委員会

委 員 長 伊藤 吉郎

副委員長 小西 直樹 福田 成生

委 員 吉村 晃人 本多 健一

高杉 明 永友 翔

松尾 憲治 上柿 範兼

吉田 泰造 松田 輝明

小松原寛俊 大和 良樹

押部 誠



**1級建築士 合格実績 No.1**

令和6年度 1級建築士 学科・設計製図試験

関西エリア 2府4県 大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県

ストレート合格者占有率 **68.9%**

関西エリアストレート合格者 183名中 / 当学院当年度受講生 126名

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 ※都道府県ストレート合格者数は、（公財）建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、令和6年度1級建築士学科試験に合格し、令和6年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。（令和7年1月15日現在）

無料ガイダンス・体験講座 随時受付中!!

1・2級建築士

1・2級施工管理

宅建士

設備士



総合資格学院

奈良校

奈良県奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F

TEL: 0742-30-1511

株式会社総合資格の人材サービス

総合資格navi

（新卒採用）お問合せはこちらのQRから▶

